

# 令和 6 年度以降の主な検討事項（案）

## 1. 特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン（クマ類編）の改定

- 対策方針を踏まえて、個体群管理、保護管理ユニットの個体数水準の見直し、モニタリング方法、ゾーニング管理等について、ガイドラインの改定に向けた技術的な検討を行う。

## 2. 令和 5 年度大量出没の要因等の検証

- 令和 5 年度の大量出没や人身事故の発生要因、都道府県等の対策を検証して課題を整理し、出没対策の改善策を検討する。

## 3. 個体数モニタリング（全国の個体数推定方法）に関する検討

- 現状の個体数モニタリングの課題整理を行うとともに、全国や保護管理ユニット、各地域での生息状況調査や個体数推定の方法の検討を行う。

## 4. その他

- クマ類の生態や施策に関する普及啓発資料の作成 など